

平成 29 年度

事業報告書

社会福祉法人 亀山市社会福祉協議会

～目 次～

1	法人運営事業（総務係）	・・・・P1
2	地域福祉事業（地域福祉係）	・・・・P9
3	在宅福祉サービス事業（在宅福祉係）	・・・・P28
4	在宅福祉サービス事業及び社会福祉センターの運営（障がい福祉係）	・・・・P32
5	その他	・・・・P41
6	事務機構図	・・・・P42

平成 29 年度 事業報告書

平成 29 年度の亀山市社会福祉協議会は、住民の参加・協働による市民参画型の福祉社会の実現を理念に、誰もが安心して明るく元気に暮らすことのできる福祉のまちづくりの推進を目指し、地域福祉活動計画及び年度当初策定しました事業計画に基づき以下の事業を実施いたしました。

<重点項目>

- 1 経営組織及び財務規律の強化
- 2 第 2 次地域福祉活動計画の策定
- 3 ボランティア活動の推進
- 4 サロン活動の推進
- 5 福祉教育推進事業の拡充
- 6 成年後見制度の活用促進
- 7 介護保険サービス・障害福祉サービスの充実

<事業実施項目>

- 1 法人運営事業
- 2 地域福祉事業
- 3 在宅福祉サービス事業
- 4 社会福祉センターの運営
- 5 その他

1 法人運営事業

1 会務の運営

①理事会（6 回）

第 1 回 平成 29 年 4 月 24 日（月） 書面決議

議 題

議案第 1 号 平成 29 年度共同募金配分金の助成について

第 2 回 平成 29 年 6 月 5 日（月） 出席者 11 名

議 題

議案第 1 号 平成 28 年度 事業報告及び決算について

議案第 2 号 平成 29 年度 資金収支（一次）補正予算について

議案第 3 号 第 1 回評議員会の招集について

第3回 平成29年6月28日（水） 出席者9名

議 題

議案第1号 会長、副会長及び常務理事の選任について

議案第2号 経理規程の一部改正について

報告第1号 会長及び常務理事の職務の執行状況の報告について

第4回 平成29年12月5日（火） 出席者9名

議 題

議案第1号 平成29年度 資金収支（二次）補正予算について

議案第2号 社会福祉法人亀山市社会福祉協議会亀山市社会福祉センター管理運営規程の一部改正について

議案第3号 指定障害福祉サービス多機能型事業所つくしの家運営規程の一部改正について

議案第4号 第2回評議員会の招集について

報告第1号 会長及び常務理事の職務の執行状況の報告について

第5回 平成30年2月19日（月） 出席者9名

議 題

議案第1号 第三者委員の選任について

議案第2号 定款の変更について

議案第3号 亀山市社会福祉協議会介護予防支援事業所運営規程の制定について

議案第4号 経理規程の一部改正について

議案第5号 社会福祉法人亀山市社会福祉協議会事務局規程の一部改正について

議案第6号 社会福祉法人亀山市社会福祉協議会職員就業規程の一部改正について

議案第7号 社会福祉法人亀山市社会福祉協議会処務規程の一部改正について

議案第8号 亀山市社会福祉センター管理運営規程の一部改正について

議案第9号 亀山市社会福祉協議会介護予防訪問介護事業所運営規程の一部改正について

議案第10号 平成29年度 資金収支（三次）補正予算について

議案第11号 平成30年度 事業計画及び資金収支予算について

議案第12号 第3回評議員会の招集について

第6回 平成30年3月29日（木） 書面決議

議 題

議案第1号 亀山市社会福祉協議会介護予防支援事業所運営規程の一部改正について

②評議員会（3回）

第1回 平成29年6月28日（水） 出席者16名

議 題

議案第1号 平成28年度 事業報告及び決算について

議案第2号 理事及び監事の選任について

議案第3号 平成29年度 資金収支（一次）補正予算について

議案第4号 社会福祉法人亀山市社会福祉協議会役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の廃止及び役員等の報酬及び費用弁償に関する規程並びに評議員の報酬及び費用弁償に関する規程の制定について

第2回 平成29年12月15日（金） 出席者14名

議 題

議案第1号 平成29年度 資金収支（二次）補正予算について

報告事項 亀山市社会福祉センターの管理運営について

指定障害福祉サービス多機能型事業所つくしの家の運営について

第2次地域福祉活動計画について

平成29年度事業報告（4月～9月）について

第3回 平成30年3月7日（水） 出席者17名

議 題

議案第1号 理事の選任について

議案第2号 定款の変更について

議案第3号 平成29年度 資金収支（三次）補正予算について

議案第4号 平成30年度 事業計画及び資金収支予算について

報告事項 事務局体制の変更について

③監事監査（2回）

第1回 平成29年5月23日（火） 出席者2名

議 題

①平成28年度事業報告及び収支決算の監査について

第2回 平成29年10月27日（金） 出席者2名

議 題

①平成29年度中間監査について（4月1日～9月30日）

④三役会（会長・副会長・常務理事）

第1回 平成29年4月21日（金）

議 題 ①理事会提出議案について

第2回 平成29年5月29日（月）

議 題 ①理事会及び評議員会提出議案について

第3回 平成29年7月26日(水)

議 題 ①第2次亀山市地域福祉活動計画の策定状況について

第4回 平成29年8月30日(水)

議 題 ①社会福祉センター及びつくしの家の運営についての協議

第5回 平成29年9月27日(水)

議 題 ①第2次亀山市地域福祉活動計画についての協議

第6回 平成29年10月25日(水)

議 題 ①平成29年度事業報告について(4月～9月)
②第2次亀山市地域福祉活動計画の策定状況について

第7回 平成29年11月29日(水)

議 題 ①理事会及び評議員会提出議案について

第8回 平成29年12月20日(水)

議 題 ①平成30年度予算概要について
②つくしの家送迎サービスについて

第9回 平成30年1月31日(水)

議 題 ①理事会及び評議員会提出議案について

第10回 平成30年2月28日(水)

議 題 ①地域包括支援センターについて

第11回 平成30年3月28日(水)

議 題 ①地域の包括的な支援体制とCSWの役割について

⑤幹部会議

6月の新役員決定後は、幹部会議を廃止し、三役会を毎月定例におこないました。

第1回 平成29年4月26日(水)

議 題 ①各係の目標について

⑥役員及び評議員研修会の開催

本会の社会福祉事業の推進を図るため、役員及び評議員の研修会を実施しました。

実施日 平成30年3月10日(土)

場 所 中央コミュニティセンター

内 容 亀山市地域福祉講演会

講 師 豊中市社会福祉協議会 地域福祉室長 勝部 麗子

参加者 11名

2 基盤の強化

①会員制度の啓発及び推進

(単位：名、円)

実施期間	普通会員	特別会員	29年度 実績額	28年度 実績額	増減額
7月	11,084	3	3,539,600	3,310,100	229,500

3 社会福祉大会事業 <市補助事業>

①第13回亀山市社会福祉大会

亀山市における社会福祉関係者が一堂に会し、今後の更なる努力を誓い、併せて亀山市の社会福祉の発展に功績のあった方々を表彰し、感謝を表するため開催いたしました。

実施日 平成29年11月22日(水)

場 所 亀山市中央コミュニティセンター

内 容 表彰状・感謝状授与

記念講演：演題 「子どもの貧困の現状について」

講師 NHK名古屋放送局 報道部(報道番組)

チーフ・プロデューサー 板垣 淑子

参加者 約200名

4 福祉移送サービス事業 <市委託事業>

「住みよい福祉のまちづくり」を推進することを目的として、歩行困難の方や寝たきり状態の方を対象に、福祉移送サービスを実施いたしました。

(単位：名、回)

	29年度	28年度	増減
登録者数	52	50	2
延べ運行回数	1,602	1,898	△296

<29年度内訳>

(単位：円、回)

月	運行費 (年会費含む)	内 容				運行 回数
		リハビリ	診察	透析	その他	
4	70,800	0	88	52	7	147
5	42,800	0	69	52	7	128
6	42,200	0	93	38	4	135
7	39,000	0	88	33	7	128
8	40,000	0	89	37	1	127
9	32,000	0	76	23	1	100
10	45,200	12	73	32	6	123
11	42,200	16	62	39	3	120
12	53,800	16	79	57	0	152
1	47,000	12	77	51	0	140
2	39,800	14	72	55	0	141
3	51,400	16	82	62	1	161
計	546,200	86	948	531	37	1,602

※その他：病院への入退院、施設への入退所など

5 介護機器貸し出し事業

健康増進と家族の身体的、精神的な負担の軽減を図り、社会参加を促進することを目的として、在宅の寝たきり高齢者及び障がい児（者）などに対して車椅子及び歩行器を貸し出しました。

(単位：件)

	29年度	28年度	増減
車椅子	266	222	44
歩行器	2	1	1

6 入れ歯リサイクル事業

入れ歯に使われている金属をリサイクル資源として回収し、収益金を世界中の恵まれない子供たちのために役立てようとする「入れ歯リサイクル事業」を行いました。総合保健福祉センター及び社会福祉センターに回収ボックスを設置し、投入された入れ歯をNPO法人日本入れ歯リサイクル協会が回収し、益金を日本ユニセフ協会へ納めています。

(単位：件)

	29年度	28年度	増減
投函数	31	42	△11

7 日本赤十字社との連絡及び協力

①日本赤十字社社資募集

(単位：円)

実施期間	29年度 実績額	28年度 実績額	増減額
5月	4,804,550	4,871,350	△66,800

※日本赤十字社三重県支部亀山市地区事務局

8 実習生の受入

福祉の人材を育成することは、法人の社会的責務であることから、積極的に社会福祉士等の実習生を受け入れました。

(単位：名)

学校名	人数	実習期間	実習内容
鈴鹿医療科学大学	1	8月9日～9月6日	相談援助実習

9 福祉団体の事務及び助成

①団体事務局

- 1) 亀山市民生委員児童委員協議会連合会
- 2) 亀山市老人クラブ連合会
- 3) 亀山保護司会
- 4) 亀山更生保護女性会
- 5) 亀山市遺族会

②団体助成

1) 亀山市民生委員児童委員協議会連合会	(市補助金)	3,423,586 円
2) "	(共同募金配分金)	200,000 円
3) 亀山保護司会	(市補助金)	585,604 円
4) 亀山市遺族会	(市補助金)	861,720 円
5) 亀山市自治会連合会	(共同募金配分金)	250,000 円

10 東日本大震災被災地支援のための募金活動

多くの市民のご協力をいただき、多額のご寄付を共同募金会を通じ被災地へ届けることができました。

(単位：円)

	29 年度末	28 年度末	29 年度募金額
東日本大震災	14,318,115	14,297,665	20,450

(事業評価・今後の課題)

会務の運営について、理事会を6回、評議員会を3回、監事監査を2回開催しました。29年度は、社会福祉法の改正に伴う役員及び評議員の選任を行い、新たな体制でスタートする年となりました。基盤の強化として、三役会を月1回の定期開催とし、第2次地域福祉活動計画の策定や介護保険サービス事業及び障害福祉サービス事業などのあり方について、地域包括支援センターについての検討を行いました。また、第2次地域福祉活動計画に運営基盤の強化を明記し、法人全体の組織体制の強化をはじめ、経営品質の向上、人材の育成、地域における公益的な取組を進めていくとともに、財政基盤の強化として、会員制度の充実、共同募金事業の推進、効率的かつ安定的な事業経営を行っていきます。

亀山市と共催で第13回社会福祉大会を約200名の参加のもと開催し、亀山市の社会福祉の発展に功績のあった民生委員児童委員、福祉委員、ボランティア等1社40名17団体の方々に感謝の意を表すとともに、記念講演では、NHK名古屋放送局 報道部(報道番組)チーフ・プロデューサー 板垣 淑子 氏より「子どもの貧困の現状について」と題してご講演をいただきました。また、大会宣言では、参加された福祉関係者が一層の連携と協力を図り、更なる地域福祉の推進に全力を傾けることを誓い合いました。

福祉移送サービス事業(市委託事業)については、前年度に比べ、登録者数は若干増加したものの、運行回数は減少いたしました。ニーズの高い事業でもあるため、今後も引き続き、利用者の方々が安心して利用できるようなサービス提供に努めていきます。

決算状況については、29年度もマイナス収支となりました。特に介護保険サービス事業は毎年厳しい収支状況であることから、経営分析を行い、事業の抜本的な見直しに着手し安定的な財務運営を目指します。

今後も法人としての適切な組織運営を行っていくとともに、役職員が一体となって、地域福祉活動計画の基本理念である「ともに支え合い ともに暮らせるふくしのまち」の実現に向けて、地域のニーズに沿った事業活動を展開し、地域住民や利用者から信頼される社会福祉協議会を目指してまいります。

2 地域福祉事業

1 第2次亀山市地域福祉活動計画の策定

地域住民や福祉関係者、行政等と協働して地域福祉活動の行動計画である、第2次亀山市地域福祉活動計画を平成30年1月に策定しました。

①亀山市地域福祉活動計画策定委員会

第1回 平成29年8月9日（木） 出席者10名

- 議 題 ・ 委員長及び副委員長の選任について
・ 第2次亀山市地域福祉活動計画策定について

第2回 平成29年10月17日（火） 出席者10名

- 議 題 ・ 第2次亀山市地域福祉活動計画（総論素案）に対する意見対応について
・ 第2次亀山市地域福祉活動計画（各論素案）について

第3回 平成29年11月22日（水） 出席者11名

- 議 題 ・ 第2次亀山市地域福祉活動計画（総論素案）（各論素案）に対する意見対応について
・ 第2次亀山市地域福祉活動計画（最終案）について

②職員研修の実施

第2次地域福祉活動計画の策定にあたり、共通の認識をもって地域福祉を推進していくことを目的に、職員を対象に研修会を実施しました。

実施日 平成29年12月22日（金）

場 所 総合保健福祉センター

出席者 17名

③地域福祉講演会の開催

市と共催で両計画の策定を報告するとともに、主要な取り組みの一つである「コミュニティソーシャルワーカー」の役割等について、各地区の福祉委員をはじめ、民生委員・児童委員や市民に知っていただく機会として開催しました。

実施日 平成30年3月10日（土）

場 所 市文化会館 中央コミュニティセンター

内 容 第1部 基調講演

演 題：ともに支え合い、ともに暮らせるふくしのまちをめざして

講 師：豊中市社会福祉協議会 地域推進室長 勝部 麗子

第2部 トークセッション

コメンテーター：豊中市社会福祉協議会 地域福祉室長 勝部 麗子

コーディネーター：亀山市地域福祉推進委員会 委員長 蒔田 勝義

参加者 140名

2 小地域ネットワーク活動事業

①地区福祉委員会の設置促進及び活動支援

(地区まちづくり協議会助成事業) <社協会費>

福祉のまちづくりを進めていく地域福祉の推進役として、全 22 地区 356 名の方に委嘱し、29 年度に全 22 地区に福祉委員会を設置しました。地域特性に応じた福祉活動を展開することを目的に助成事業を行い、地区福祉委員会が行う交流活動や訪問活動、研修会などについてコーディネートを行いました。

・福祉委員の選出 計 356 名 (平成 28 年度 351 名)

<地区まちづくり協議会別福祉委員活動状況>

(単位:名、地区)

No	地区名	委員	小地域ネットワーク活動・地区福祉委員会活動助成事業(主な事業)
1	昼生	11	小学生と一人暮らし高齢者宅訪問、ふれあい歌の広場、施設見学
2	井田川南	29	ふれあいグラウンドゴルフ大会、ふれあい輪投げ大会、高齢者訪問
3	井田川北	39	高齢者への花プレゼント(訪問活動)、敬老会
4	川崎	27	みんな元気で楽しい集い、健康体操、ふれあいフェスタ
5	野登	16	子ども見守りパトロール、三世代交流(グランドG、しめ縄作り等)
6	白川	10	小学生との一人暮らし訪問活動、高齢者と小学生の交流(白川そば作り)
7	神辺	14	三世代ふれあい交流(農産物や作品の展示等)、訪問活動、ふれあいキッズカフェ、健康体操
8	野村	27	盆踊り大会、三世代ふれあい事業(餅つき、昔のあそび等)、高齢者訪問
9	城東	13	三世代ふれあい事業(野外活動、「しろやまサロン」の開催)、健康講座及び高齢者講習
10	城西	9	三世代ふれあい交流食事会、訪問活動、そば打ち体験
11	城北	11	ふれあい交流会(ブリザードフラワーアレンジ)、敬老会、一人暮らし高齢者訪問
12	御幸	8	三世代交流会(茶話会、落語)、高齢者訪問、認サポ
13	本町	8	春のつどい、交流ふれあい広場、いきいきサロン「地域の茶の間」
14	北東	8	ふれあいもちつき大会、なかよしサロン、一人暮らし高齢者訪問、自遊ひろば
15	東部	34	文化演芸大会(世代間及び地域交流行事)、訪問活動
16	天神・和賀	12	ふれあいミニサロン、三世代交流祭、一人暮らし訪問活動
17	南部	9	ふれあい大運動会、敬老会、高齢者訪問活動、ふれあいサロン
18	関宿	33	高齢者見守り訪問活動、ふれあい交流会、ふれあいサロン、名簿作成
19	北部	6	高齢者訪問、三世代交流「お絵かき教室」、餅つき大会
20	関南部	13	高齢者ふれあい交流会、高齢者訪問活動、施設見学
21	加太	7	敬老会、高齢者配食サービス、研修会、施設見学
22	坂下	12	ふれあいサロン、全戸訪問活動、夕涼み会、配食訪問活動、避難訓練
	計	356	

②福祉委員新任研修会

ワークショップを用いながら、ご近所付き合いの中での「見守り」について考えることによって、福祉委員活動を行うための実践的な技術と意識の向上が図られました。

実施日 平成 29 年 6 月 12 日（月）、29 日（木）

場 所 総合保健福祉センター

内 容 講演及びワークショップ

テーマ：『亀山流の見守りを福祉委員会から考えあってみましょう』

講 師：皇学館大学 教育開発センター 准教授 板井 正斉

参加者 113 名

③福祉委員対象認知症サポーター養成講座

地域包括支援センターと共催で、認知症の正しい理解と日頃の見守り活動に役立てることを目的とし、「認知症サポーター養成講座」を 2 回開催いたしました。

実施日 平成 29 年 12 月 12 日（火）10:00～11:30 13:30～15:00

場 所 総合保健福祉センター

内 容 講演：『認知症サポーター養成講座』

講師：地域包括支援センター

参加者 41 名

3 ボランティアセンター事業

① ボランティアセンター登録者（団体及び個人）

<50音順>

No	団 体 名	活 動 内 容	29年度	28年度	増減
1	アモーレかめやま	市内施設・イベント等での演奏活動	17	17	0
2	あゆみの会	福祉施設ボランティア等	11	11	0
3	安心を備える女性の会(CEF)	女性の視点の防災・減災ボランティア	10	9	1
4	おはなしの会マミーズ	絵本の読み聞かせボランティア	11	14	△3
5	オレンジの会	ボランティア教室やイベント等の調理ボランティア	6	6	0
6	かぼちゃの会	高齢者サロン活動ボランティア	11	11	0
7	かみきりむしの会	市内施設・教育機関等での工作ボランティア	16	15	1
8	亀の会	ふれあい教室とのボランティア活動等	6	5	1
9	亀山絵本と童話の会	絵本や童話の創作、絵本・折り紙教室等	16	16	0
10	亀山おもちゃの病院	おもちゃの病院（修理）の開院	14	12	2
11	亀山自助具の会	高齢者、障がい者、福祉施設のボランティア	11	11	0
12	亀山市ベビーマッサージ教室あかちゃんはい	子育て中の保護者にベビーマッサージの普及	2		2
13	亀山点訳友の会	点字・点訳図書の作成と講習	12	13	△1
14	亀山民話を語る会	福祉施設・学校等での民話普及活動	15	15	0
15	亀山朗読奉仕会	市広報等の録音テープ作成等	15	16	△1
16	亀山ロマンチカ	施設等でのマジック・バルーンアート等	7	7	0
17	カラオケボランティアローズ	高齢者施設でのカラオケボランティア	3		3
18	車椅子レクダンス普及会亀山支部	車椅子レクダンスの練習、福祉施設訪問	11	25	△14
19	クローバーの会	こころのサポートボランティア活動	3	3	0
20	傾聴かめやま	福祉施設での傾聴活動	9	7	2
21	子育て支援「かめのこ」	ファミリーサポート活動、託児ボランティア	84	69	15
22	こでまり	高齢者・障がい者・福祉施設ボランティア	9	10	△1
23	災害通信ボランティアネットワーク亀山	災害時アマチュア無線ボランティア	18	19	△1
24	在宅福祉ネットワーク愛里寿	地域ネットワーク活動、施設・イベント等協力	76	74	2
25	しいのみ会	老人施設の草取り、鈴鹿中央病院内活動等	26	27	△1
26	清和友の会	福祉施設ボランティア、市内イベント協力	6	6	0
27	関点訳友の会	点字・点訳図書の作成と講習	6	6	0
28	たすけあいクラブ	生活上の困りごとの支援、保健・福祉の勉強会	14	14	0
29	たんぼぼ	福祉施設ボランティア、こどもボランティア教室等	10	12	△2
30	つくしの家ボランティアサークル	福祉施設ボランティア等	8	10	△2
31	椿世ひまわり会	町内イベント等の調理や高齢者宅の草刈り等	14	14	0
32	国鉄・JR親睦会	福祉活動、奉仕活動全般	13	13	0
33	心のバリアタウン推進の会	バリアフリー専門調査員育成、マップの作成	18	19	△1
34	福祉サポート隊	障がい者の入浴介助、あいあい周辺的环境整備等	10	9	1
35	文化箏 華音	福祉施設・イベント等での演奏活動	33	27	6

36	NPO 法人ぼっかぼかの会	障がい児（者）の就労の場を作るための各種活動	41	40	1
37	ボランティアサークルいちご	亀山老健認知症対応型デイサービスボランティア	5	6	△1
38	三重パソコン要約筆記サークル ことのは 亀山支部	要約筆記などに関するボランティア活動や啓発講座の実施	3	2	1
39	みっくすどろっぷす	障がい児（者）と家族の交流の場、勉強会の開催等	4	4	0
40	民謡 川崎瀧進絵会	福祉施設・イベント等での演奏活動	19	16	3
41	八房流南京玉すだれ はり香一座	福祉施設・学校等での南京玉すだれの疲労	5	5	0
42	介護アロマ三重サークル亀山	アロマ精油を使って高齢者施設へ慰問	4	2	2
43	きぼうの会	野村きぼう苑での歌と踊りのボランティア	22	22	0
44	義勇者(災害支援グループ)	災害支援活動全般	2	2	0
45	グリーンタウン呼吸嚙下ケアプランニング ボランティアグループ	在宅療養者の方の食事や買い物等の外出機会を提供する	33	34	△1
	亀山元気の会	施設花壇草木の手入れ等		15	△15
	個人ボランティア	災害支援等	8	5	3
合計			697	695	2

②ボランティア保険

安心してボランティア活動ができるための基礎環境の整備として、ボランティアセンター登録団体及び個人に対し、ボランティア活動保険助成を行うとともに、ボランティア保険の加入促進を図りました。

(単位：件、人)

	活動保険	行事保険	福祉サービス 総合補償	送迎サービス 補償
件数	43	71	2	1
人数	1,381	4,005	1,310	50

③ボランティアコーディネート

ボランティアを必要としている方、また活動を始めたい方などに連絡、調整、斡旋などのコーディネートをを行いました。

(単位：件)

	29年度	28年度	増減
相談件数	26	41	△15

④ボランティアセンター登録ネットワーク会議

ボランティアセンターに登録している団体を対象に、情報提供及び意見交換、相互の交流を目的に実施いたしました。

実施日 平成 30 年 3 月 6 日 (火)

場 所 総合保健福祉センター

内 容 平成 30 年度ボランティア登録、活動保険、活動団体助成事業などについて

参加者 23 名

⑤ボランティア講座

サロン活動に興味を持ち、地域住民の方々が地域でサロンを立ち上げるきっかけ作りを行うとともに、より多くの人にサロンについて知ってもらうことを目的に実施しました。

実施日 平成 30 年 2 月 28 日（水） 10:00～12:00

場 所 総合保健福祉センター

テーマ 「サロンってなんだろ？～地域の憩いの場づくりしてみませんか～」

講 師 菰野町社会福祉協議会 地域福祉活動コーディネーター 佐藤 由佳子
地域福祉係いきいきサロン担当 佐々木 夏江

参加者 36 名

⑥ボランティア交流会

ボランティア活動者が意見交換、情報交換を行うことによって、活動の現状や課題について情報を共有し、活動の活性化を図りました。

実施日 平成 30 年 3 月 6 日（火）

場 所 総合保健福祉センター

内 容 ボランティアセンター登録団体による活動報告会
亀山絵本と童話の会

参加者 17 団体 23 名

⑦災害ボランティアセンター

○三泗鈴亀地区災害ボランティアセンター広域連携訓練

実施日 平成 29 年 12 月 17 日（日）

場 所 菰野町保健福祉センターけやき

対 象 三泗鈴亀地区社協職員 菰野町災害ボランティアコーディネーター

参加職員 3 名

○鈴鹿市災害ボランティアセンター設置・運営訓練に参加

実施日 平成 30 年 3 月 4 日（日）

場 所 鈴鹿市社会福祉センター 鈴鹿市労働福祉会館

対 象 三泗鈴亀地区社会福祉協議会職員 鈴鹿市行政機関 他

参加職員 3 名

⑧災害ボランティア支援センター

災害ボランティア支援センターを設置し、ボランティア保険の加入手続き、義援金・支援金の募集などを行いました。台風に伴う警報時発令時に職員を配置し災害ボランティアセンター設置に備えました。

⑨福祉ボランティア基金助成配分事業 <福祉ボランティア基金事業>

ボランティアセンター登録団体又は個人が、社会福祉の向上のために行う福祉ボランティア活動に対して助成を行いました。

(単位：団体、円)

	29年度	28年度	増減
団体数	9	9	0
助成金額	635,000	647,272	△12,272

⑩あいあい祭り 2017 ～であい ふれあい ささえあい～<福祉ボランティア基金事業>

あいあい祭り実行委員会事務局として、祭りの運営、各種許可申請、会場設営などを担当し、多数のボランティアの協力を得て開催いたしました。

実施日 平成 29 年 10 月 15 日 (日)

場 所 総合保健福祉センター及び医療センター

内 容 ボランティア体験・活動紹介、ボランティア・福祉協力校紹介、模擬店、ステージ発表 など

○実行委員会事務局の運営

1) 準備委員会 平成 29 年 7 月 3 日 (月)

・テーマの選定、実行委員長及び副委員長の選任について

2) 実行委員会

第 1 回 平成 29 年 8 月 2 日 (水)

・あいあい祭り組織図、全体スケジュール等について

第 2 回 平成 29 年 10 月 4 日 (木)

・実施内容の最終確認、事前準備について

第 3 回 平成 29 年 11 月 13 日 (月)

・あいあい祭り 2017 の振り返りについて

3) 代表者会議

平成 29 年 8 月 2 日、8 月 31 日 (全 2 回)

・各部会からの報告及び協議事項、予算について

4) 部会

広報部会 平成 29 年 8 月 2 日、8 月 9 日、8 月 23 日 (全 3 回)

・広報スケジュール、チラシの校正等について

ステージ部会 平成 29 年 8 月 2 日、8 月 31 日 (全 2 回)

・司会進行、出演依頼、当日のプログラム等について

会場部会 平成 29 年 8 月 2 日、8 月 31 日 (全 2 回)

・ゴミの回収、会場レイアウト等について

○催し物の実施

あいあい祭り参加団体として、各種団体等の活動紹介パネルの展示等を行い、福祉への関心を高め、思いやりの輪を広げることを目的に実施いたしました。

内 容 ボランティアセンター登録団体パネル展示
福祉教育推進事業、サロン活動パネル展示
共同募金イベント募金

4 福祉教育推進事業

①福祉教育推進助成事業 <共同募金配分金事業>

学校内における福祉教育について、車椅子の貸出、ボランティア紹介、助成事業などを行い、社会福祉への理解と関心を高めることを目的に実施いたしました。29年度より保育所、幼稚園、認定こども園に対しても地域交流等をとおして福祉の心を育ていけるよう助成事業の拡充を行いました。

- ・助成事業：計 1,900,000 円 (@50,000×14校、18園 モデル校@100,000×2校、1園)
- ・29年度モデル校、園：加太保育園、野登小学校、亀山高等学校

(単位：校、園)

保育所	13	第一愛護、第二愛護、みなみ、神辺、昼生、和田、川崎南、加太(モデル校)、第三愛護、亀山愛児、川崎愛児、野登ルンビニ、なのはな
幼稚園	5	亀山、亀山東、井田川、みずほ台、みずきが丘道伯
認定こども園	1	アスレ
小学校	11	亀山西、亀山東、亀山南、井田川、野登(モデル校)、川崎、神辺、昼生、白川、関、加太
中学校	3	亀山、中部、関
高等学校	2	亀山(モデル校)、徳風

○モデル指定校(園)との関わり

モデル校(園)を指定し、学校(園)と社協が協働で年間を通じてのプログラムを作成し、下記の内容の事業を行いました。

学校(園)名	内 容
加太保育園	野外体験保育をとおしての地域の人たちとの交流 そうめん流し、田植え体験、いばら餅作りなど
野登小学校	認知症キッズサポーター養成講座 ユニバーサルデザイン、バリアフリーについて学ぼう 地域の高齢者施設訪問の事前学習(アロマ精油を使ったハンドマッサージ)
亀山高等学校	ふれあい・いきいきサロンとの交流(2回) 障がいについての事前学習(特別支援学校との交流) 地域における支え合いセミナーでの活動発表(県総合文化センター)

②夏休み中学生福祉体験教室 <市補助事業>

夏休みの8月21日(月)～25日(金)【5日間】市内の社会福祉施設において、高齢者や障がい者の方々とふれあい・交流を通じて、福祉に対する理解を深めることを目的に開催いたしました。

(単位:名 ※延べ人数)

施設名	参加者	施設名	参加者	施設名	参加者
亀寿苑	8	愛の里	19	はなの家	8
野村きぼう苑	1	宝寿の郷	4	花しょうぶ園センター	8
亀山老人保健施設	5	わたのさと	1	亀寿苑園デｲアｯﾌﾟセンター	9
亀山デｲｰﾋﾞｽﾞﾝﾀｰ	7	グループホーム亀山	6	なかまの部屋	8
花しょうぶ苑	6	うさぎ亀山	20	亀寿苑川崎デｲアｯﾌﾟセンター	5
つくしの家	7	グループホーム白鳥	4	えん亀山農場	5
ｱｽﾌﾟﾗﾝ亀山	12	ﾌﾟﾚﾐｱﾃﾞｲﾘﾝりん	7		
優の里デｲｰﾋﾞｽﾞﾝﾀｰ (新)	2	さと和デｲｰﾋﾞｽﾞﾝﾀｰ (新)	2		
				合 計	154

③街頭募金活動

福祉教育の推進及び地域の福祉活動を行う財源確保を目的に、市内の中学・高校生らに街頭募金活動を実施しました。

(単位:円)

No	日程	学校名	場所	金額	募金名
1	6月6日	徳風高	スーパー2店舗	14,416	福祉ボランティア基金
2	6月20日	亀山高	スーパー2店舗	17,629	〃
3	10月15日	亀山中	あいあい祭り	21,432	共同募金
4	11月1日	関中	スーパー1店舗	14,265	〃
5	11月6日	中部中	スーパー1店舗	11,315	〃
6	11月13日	亀山中	スーパー1店舗	10,642	〃
7	11月14日	亀山高	スーパー2店舗	21,231	〃
8	11月19日	亀山高	食の祭典・企業典	46,212	〃
9	12月9日	亀山高	ヒューマンフェスタ	13,220	〃
10	1月27日	亀山高	亀山大市	12,299	〃

④福祉教育パンフレット、DVDの作成

福祉教育推進の取り組みについて、関係機関等に広く周知啓発を図るため、パンフレット及びDVDを作成しました。

パンフレット及びDVD名 「広がれ！福祉教育！」

5 サロン活動推進事業

①ふれあい・いきいきサロン・子育てサロン・コミュニティサロン助成事業

地域住民やボランティアが主体となって、コミュニティセンターや集会所など地域の身近な場所を活用し、集まって過ごす「憩いの場」を作る「サロン活動」に助成いたしました。

高齢者対象の「ふれあい・いきいきサロン」は介護予防普及啓発事業に位置付けるとともに、従前から推進している「子育てサロン」、さらには地域住民誰もが参加できる「コミュニティサロン」を事業化しました。

(単位：円、名)

		29年度 箇所数	28年度 箇所数	増減	助成金額	延べ参加数
高齢者	既存	51	51	0	1,836,000	21,493
	新規	29	5	24	936,000	
	計	80	56	24	2,772,000	
子育て	既存	8	8	0	288,000	2,990
	新規	0	2	△2	0	
	計	8	10	△2	288,000	
コミュニティ	既存	/	/	/	/	2,687
	新規	8	/	/	285,000	
	計	8	/	/	285,000	
合計		96	66	30	3,345,000	27,170

②ふれあい・いきいきサロン交流会

市内のふれあい・いきいきサロンを実施している団体間において、情報交換や交流を深めることにより、サロン活動の充実を図ることを目的に開催いたしました。

実施日 平成30年3月12日(月)
 場 所 総合保健福祉センター
 内 容 サロン団体の活動発表及び意見交換会
 発表団体 いきいきサロン「憩い」(昼生)
 参加者 63団体70名

③子育てサロン交流会

小さな子どもを持つ親たちが地域で安心して子育てができるよう、サロン活動を行う上の悩みや解決方法について、意見交換を行うとともに相互の交流を深めました。

実施日 平成30年3月9日(金)
 場 所 総合保健福祉センター
 内 容 各地区サロン発表と体験(簡単お菓子作り)
 参加者 5団体：大人12名、子ども6名(うち主任児童委員2名)

6 広報啓発事業

①社協だよりの発行（年4回）

社会福祉協議会が行う事業をはじめ、地区福祉委員会やボランティアなどの地域における福祉活動を市民に啓発するため、年4回、市内全世帯に配布いたしました。

第50号 平成29年7月1日「特集：いらっしゃいコミュニティサロンへ」等

第51号 平成29年10月1日「特集：ふれて学ぶ福祉の場」等

第52号 平成30年1月1日「ふくし最前線 特集：河田 弘江さん」等

第53号 平成30年4月1日「特集：第2次亀山市地域福祉活動計画」等

②ホームページ・フェイスブックの運営

インターネットを利用して最新の情報や各種募集（助成金など）、社会福祉協議会の概要や活動内容について情報発信を行いました。

（単位：回）

更新回数	29年度	28年度	増減
お知らせ・新着情報	34	32	2
フェイスブック	136	157	△21

HP アドレス <http://kameyama-shakyo.or.jp/>

7 総合相談事業 <市補助事業>

市の法律相談と連携するとともに、相続、遺言、金銭貸借、離婚等の法律に関することに対して公証人経験者による適切な助言、指導を行う法律相談とともに、日常生活上あらゆる心配ごとに応じるため、民生委員児童委員及び学識経験者による心配ごと相談を毎月第2・第4金曜日に開催しました。

（単位：日、件）

	29年度	28年度	増減
開設日数	23	23	0
心配ごと相談所相談件数 （元公証人による法律相談含む）	80	89	△9

○心配ごと相談員研修会（民生委員児童委員協議会連合会合同研修会）

地域でさまざまな問題を抱えた世帯のニーズに応じていくために、相談員の専門知識の習得や関係機関との連絡、連携が不可欠になってきています。今後の心配ごと相談所活動の充実を図ることを目的に研修会を実施しました。

実施日 平成30年2月27日（火）

場 所 総合保健福祉センター

講 演 「傾聴の技法」をテーマに講義と質疑応答など

講 師 みえ傾聴ボランティア連合会 会長 開発 道代

参加者 相談員8名

8 日常生活自立支援事業 <県社協受託事業>

認知症高齢者や知的・精神障がいを持つ方々が地域で安心して生活することを目的に、福祉サービス利用援助や日常的金銭管理、書類等の預かりサービスを行いました。

基幹の社協として三重県社会福祉協議会から事業を受託し専門員を配置し、行政等関係機関との連携を深め、利用者に寄り添ったサービスの提供を行いました。

○支援回数 (単位：件)

	29年度	28年度	増減
認知症高齢者	242	237	5
知的障がい者	426	460	△34
精神障がい者	376	213	163
その他	40	14	26
計	1,084	924	160

○契約者数 (単位：件)

	29年度	28年度	増減
認知症高齢者	14	13	1
知的障がい者	16	17	△1
精神障がい者	15	12	3
その他	2	1	1
計	47	43	4

○生活支援員関係 (単位：名、回)

	29年度	28年度	増減
生活支援員	15	14	1
派遣回数	865	747	118

○生活支援員研修会

サービス提供に必要な知識及び技術の向上を図るため生活支援員を対象に研修会を実施いたしました。

実施日 平成30年3月10日(土)

場 所 中央コミュニティセンター

内 容 亀山市地域福祉講演会

講 師 豊中市社会福祉協議会 地域推進室長 勝部 麗子

参加者 11名

9 成年後見制度の活用促進<市委託事業>

判断能力が不十分な成年者（認知症高齢者、精神・知的障がい者）を保護し、または支援するため、地域包括支援センターの権利擁護業務を一部受託し、成年後見制度の利用支援、専門相談、制度の普及啓発事業を行いました。

○相談実績 (単位：件)

	29年度	28年度	増減	
新規相談件数	20	24	△4	高齢者 18、精神 2
延べ相談件数	70	90	△20	

○相談内容等 (単位：件)

	29年度	28年度	増減
成年後見制度利用の相談	36	31	5
成年後見制度手続きの相談支援	11	41	△30
成年後見人等受任者への支援	5	0	5
広報・啓発活動の推進	5	4	1
その他業務に関して必要なこと	18	18	0

10 生活困窮者自立支援事業 <市委託事業>

社会的孤立や経済的困窮などの課題を抱えた方への相談支援をはじめ、きめ細やかな支援の体制づくりを行っていくことを目的に、自立相談支援事業（必須事業）及び家計相談支援事業（任意事業）を受託しました。専門員3名を配置し、相談者の生活課題を把握・整理し課題の解決に向け、相談者の状況に応じた包括的・伴走的な支援を行いました。

○相談実績 (単位：件)

	29年度	28年度	増減
新規相談件数	112	104	8
延べ相談件数	512	370	142
プラン作成件数	12	14	△2
家計相談支援利用件数	5	5	0
支援中断	0	0	0
支援終了	10	4	6

○年代別構成 (単位：件)

	29年度	28年度	増減
10～20代	11	9	2
30～40代	34	42	△8
50～60代	49	36	13
70代～	15	11	4
不明	3	6	△3

○区分（重複あり）

（単位：名）

	29年度	28年度	増減
高齢者	20	18	2
母子家庭	8	8	0
障がい者	17	21	△4
外国人	12	13	△1
稼働・失業者等	33	24	9
その他（病気等）	42	32	10
不明	0	1	△1

○支援調整会議の開催

相談者に対する支援プランの適切性、進捗状況、終結時の評価等について協議するために、毎月1回開催しました。必要に応じて市役所の関係部局、関係機関にも参加要請を行い、連携を図りました。

1.1 貸付相談及び貸付事業

低所得や障がいなど複合的な問題を抱えたケースが増加していることから、従来の生活福祉資金貸付相談をはじめ多重債務相談や住宅支援相談等、より実情に応じた様々な相談に対し、包括的かつ柔軟な対応に努めています。

①生活福祉資金等貸付相談及び貸付業務 <県社協受託事業>

三重県社会福祉協議会が行う低所得者、高齢者、障がい者などに対する生活福祉資金の貸付に関して業務の一部を受託し、経済的自立や生活意欲の助成促進、社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるよう支援することを目的に実施いたしました。

（単位：件）

	29年度	28年度	増減
相談件数	60	83	△23
貸付件数	1	6	△5
長期滞納者の面談	0	0	0

貸付残高件数（平成30年3月31日現在）

（単位：件）

	29年度	28年度	増減
総合支援資金（生活支援費）	25	28	△3
緊急小口資金	37	40	△3
臨時特例つなぎ資金	1	2	△1
福祉資金（その他）	8	10	△2
合計	71	80	△9

②福祉金庫貸付業務

市内の生活困窮者に対して、緊急を要する資金として上限 30,000 円の貸付を行うことにより、円滑な社会生活を送れるようにすることを目的に貸付事業を実施いたしました。

(単位：件、円)

		29 年度	28 年度	増減
貸付	件 数	1	1	0
	金 額	30,000	30,000	0
償還	件 数	9	13	△4
	金 額	27,000	108,000	△81,000

(不納欠損処分：1 件 20,000 円)

貸付残高件数（平成 30 年 3 月 31 日現在） (単位：件)

	29 年度	28 年度	増減
福祉金庫	11	11	0

1 2 緊急食糧等提供事業

市内在住の低所得者等が、緊急的かつ一時的に生活の維持が困難となった場合に食糧等の生活に必要な現物等を提供し、自立に向け社会生活が送れるよう支援を行いました。

(単位：件)

	29 年度	28 年度	増減
生活困窮者支援緊急食糧提供事業（県社協）	65	52	13
緊急時物品等支援事業（県社協）	2	5	△3
亀山市社協災害時等備蓄品	30	26	4

1 3 あんしん賃貸支援事業 <三重県居住支援連絡会助成事業>

高齢者、障がい者世帯等の入居を受けられる民間賃貸住宅に関する情報などを提供し、住居の安定確保と安心できる賃貸借関係の構築を目的に居住支援を行いました。

各種会議への参加	三重県居住支援連絡会議作業部会	2 回
	居住支援フォーラム	1 回
	住宅相談会	1 回

1 4 各種福祉事業

①高齢者支援

○団体助成

1) 老人福祉フェスティバル事業	(市補助金)	220,000 円
2) 交通費助成	(市補助金)	270,000 円
(老人福祉フェスティバル貸切バス代)		
3) 亀山市老人クラブ連合会	(共同募金配分金)	430,000 円

○安心見守り訪問事業 <歳末たすけあい配分金事業>

市内在住の75歳以上ひとり暮らし高齢者の世帯に対し、地区福祉委員会による見守り訪問活動を行い、災害用非常食を配布しました。

実施地区 22 地区

実施期間 平成 29 年 12 月～平成 30 年 3 月

(単位：件)

	29 年度	28 年度	増減
配布数	866	881	△15

○歳末たすけあい援護金 <歳末たすけあい配分金事業>

措置施設入所者（無年金）、契約施設入所者（無年金） 0 件 ※該当者なし

②障がい児（者）支援

○障がい児交流事業 <共同募金配分金事業>

市内在住の障がいのある児童を対象に、相互の親睦と高校生とのふれあい交流を通して共生社会の実現に向け実施しました。

実施日 平成 29 年 11 月 11 日（土）

行 先 伊賀の里モクモク手づくりファーム

参加者 15 世帯（45 名）及び亀山高校生徒 9 名

○団体助成

1) 亀山市障害者福祉協会	(市補助金)	832,600 円
〃	(共同募金配分金)	138,264 円
2) 亀山市特別支援教育振興会	(共同募金配分金)	130,000 円
3) かめやま障害児者を支える会	(共同募金配分金)	80,000 円
4) みっくすどろっぷす	(共同募金配分金)	150,000 円

○歳末たすけあい援護金 <歳末たすけあい配分金事業>

特別児童扶養手当受給者	113 件	339,000 円
障害児福祉手当受給者	0 件	0 円
特別障害者手当受給者	15 件	45,000 円
福祉手当受給者	1 件	3,000 円
合計	129 件	387,000 円

③子育て支援

○入学祝金 <歳末たすけあい配分金事業>

生活保護家庭新入学児童生徒への祝金 2 名 10,000 円

○修学旅行補助 <歳末たすけあい配分金事業>

生活保護家庭小中学校修学旅行補助 4 名 30,000 円

○団体助成

1) 亀山市子ども会育成者連絡協議会 (共同募金配分金)	60,000 円
2) 亀山市母子寡婦福祉会 (市補助金)	528,000 円
〃 (共同募金配分金)	150,000 円

○歳末たすけあい援護金 <歳末たすけあい配分金事業>

準援護家庭	257 件	771,000 円
施設入所児童	2 件	6,000 円
合計	259 件	777,000 円

④低所得者支援

○歳末たすけあい援護金 <歳末たすけあい援護事業>

生活保護世帯	177 件	408,000 円
--------	-------	-----------

○団体助成

1) 亀山みんなの食堂 (共同募金配分金)	100,000 円
2) 学習支援事業コーディネーターの会 (共同募金配分金)	150,000 円

⑤多文化共生への支援

○団体助成

1) みらいじゅく (共同募金配分金)	50,000 円
2) 亀山市日本語教室ボランティアグループはじめのいっぽ (共同募金配分金)	150,000 円

1 5 共同募金会との連絡及び協力

①赤い羽根共同募金運動

(単位：円、%)

実施期間	目標額	29年度 実績額	達成率	28年度 実績額	増減額	前年比
10月～12月	6,433,100	5,947,283	92.4	6,189,565	△242,282	96.1

②歳末たすけあい募金運動

(単位：円、%)

実施期間	目標額	29年度 実績額	達成率	28年度 実績額	増減額	前年比
10月～12月	2,100,000	1,869,171	89.0	1,800,943	68,228	103.9

③亀山市共同募金委員会運営委員会の開催

第1回 平成29年6月9日(金) 出席者7名

議 題

- 1) 運営委員及び審査委員の辞任に伴う後任の選任について
- 2) 副会長の選任について
- 3) 平成28年度事業報告及び一般会計収支決算について
- 4) 平成29年度(平成30年度充当)一般募金配分申請について
- 5) 平成29年度歳末たすけあい募金配分申請について

第2回 平成30年3月16日(金) 出席者7名

議 題

- 1) 平成30年度事業計画並びに一般会計収支予算について
- 2) 任期満了に伴う運営委員及び監事の選任について
- 3) 任期満了に伴う審査委員の選任について

(事業評価・今後の課題)

地域住民や福祉関係者、行政等と協働して地域福祉活動の行動計画である、第2次亀山市地域福祉活動計画を平成30年1月に策定しました。策定にあたり、地域福祉活動計画策定委員会で協議するとともに、共通の認識をもって地域福祉を推進していくため、職員を対象に研修会を実施しました。また、市と共催で両計画の策定を報告するとともに、主要な取り組みの一つである「コミュニティソーシャルワーカー」の役割等について、各地区の福祉委員をはじめ、民生委員・児童委員や市民に知っていただく機会として地域福祉講演会を開催しました。今後は、計画の基本理念である「ともに支え合い ともに暮らせる ふくしのまち」の実現に向け、コミュニティソーシャルワークの充実と福祉総合相談機能の充実の2つの横断的な方針を持って、地域福祉の推進に取り組みます。

サロン活動推進事業について、29年度より新たに地域住民誰もが参加できるコミュニティサロンを事業化し、新規で8カ所立ち上がり活動支援を行いました。ニーズも高いことから、コミュニティサロン交流会の実施も検討していきます。高齢者対象のふれあいいきいきサロンについては介護保険制度の改正に伴い、一般介護予防事業の介護予防普及啓発事業に位置付けられました。新規で29カ所増加し、計80カ所と大幅に増加しました。

ボランティア事業については、ニーズに応じたボランティア依頼のマッチングを行うとともに、三河鈴鹿地区災害ボランティアセンター広域連携訓練に参加し災害時の連携についても検討しました。ボランティアセンターへの目的別ボランティア団体について引き続き活動支援を行うとともに、今後は地域に根差した活動を行えるボランティアの養成も行っていきます。

福祉教育推進事業において、毎年開催している中学生福祉体験教室を実施し、市内22福祉施設のご協力により、充実した福祉体験の場を提供することができました。また、市内の学校に様々な体験やボランティア活動を通じて、福祉に対する関心を高めることを目的に福祉教育推進助成事業を実施しています。29年度より保育所、幼稚園、認定こども園に対しても地域交流等をとおして福祉の心を育んでもらえるよう助成事業の拡充を行うとともに、3校(園)をモデル校に指定し、学校と社協が協働で年間プログラムを作成し、福祉教育の更なる充実と次世代の担い手の育成に取り組みました。これら福祉教育の取り組みについて、パンフレット・DVDを作成し、福祉教育をとおして地域福祉の基盤を作っていくよう今後も取り組んでいきます。

個別の相談支援事業として、生活困窮者自立支援事業では、複合的な問題を抱えたケースに対して定期的な訪問や同行支援などきめ細やかな支援を行ったため、前年度に比べ延べ相談件数が大幅に増加しました。日常生活自立支援事業も契約者数は増えてきており、成年後見制度の利用促進や貸付事業も含め、総合保健福祉センターの機能を活かし、行政をはじめとする関係機関と連携を密にしながら、包括的な相談支援体制の構築に努めていきます。

共同募金事業については、運営委員、自治会、民生委員・児童委員等のご協力のもと戸別募金や法人募金、また中学生や高校と連携して街頭募金やイベント募金など広く募金活動を実施しました。多種多様な募金を実施されるなか、多くの募金を集めることができました。

3 在宅福祉サービス事業（在宅福祉係）

1 訪問介護・居宅介護事業

【訪問介護員（ホームヘルパー）数】（平成 30 年 3 月 31 日現在）

・常勤訪問介護員 4 名 <前年度 4 名> ・登録訪問介護員 12 名 <前年度 13 名>

(1) 介護保険制度

①訪問介護事業

要介護認定を申請し、要介護・要支援と認定された方に入浴、排泄、調理、洗濯など生活全般にわたる訪問介護を行いました。

（単位：名、件、円、時間）

		29 年度	28 年度	増減
利用延べ人数		549	665	△116
派遣延べ回数		8,069	9,316	△1,247
事業収入		26,415,416	30,282,892	△3,867,476
派遣時間数		5586.5	6,809.5	△1,223
内 訳	介護（身体介護・生活援助）	5,055	5,439.5	△384.5
	介護予防	531.5	1,370	△838.5

②介護予防・日常生活支援総合事業（平成 29 年 4 月～）

要支援及び事業対象者と認定された方に入浴、排泄、調理、洗濯など生活全般にわたる訪問介護を行いました。

（単位：名、件、円、時間）

		29 年度
利用延べ人数		125
派遣延べ回数		843
事業収入		2,659,615
派遣時間数		805.5

(2) 障害者総合支援制度

①居宅介護事業

障害福祉サービス受給者証の交付を受けた方に入浴、排泄、調理、洗濯など生活全般にわたる居宅介護を行いました。

（単位：名、件、円、時間）

		29 年度	28 年度	増減
利用延べ人数		357	340	17
派遣延べ回数		3,913	4,107	△194
事業収入		12,257,726	13,211,707	△953,981
派遣時間数		3,206	3,111.5	94.5

②同行援護事業

障害福祉サービス受給者証の交付を受けた視覚障害の方に、外出するための移動支援を行っています。平成29年度は利用実績がありませんでした。

(単位：名、件、円、時間)

	29年度	28年度	増減
利用延べ人数	0	11	△11
派遣延べ回数	0	16	△16
事業収入	0	41,527	△41,527
派遣時間数	0	17	△17

③地域生活支援事業＜市委託事業＞

障害福祉サービス受給者証の交付を受けた方に外出するための移動支援を行いました。

(単位：名、件、円、時間)

	29年度	28年度	増減
利用延べ人数	8	2	6
派遣延べ回数	8	44	△36
事業収入	26,930	111,760	△84,830
派遣時間数	9	22.5	△13.5

2 居宅介護支援事業

【介護支援専門員（ケアマネジャー）数】（平成30年3月31日現在）

・介護支援専門員 3名 <前年度4名>

①介護給付費 <介護保険制度>

事業対象者・要支援及び要介護と認定された利用者や家族等の意見をふまえたケアプランを作成し、居宅サービス計画に基づき在宅サービス事業者との連絡調整を行いました。

(単位：件、円)

月	介護給付		予防給付	
	件数	金額	件数	金額
4	86	1,309,261	18	80,460
5	88	1,351,348	19	88,066
6	87	1,344,659	17	76,160
7	86	1,328,822	18	83,766
8	87	1,345,816	20	98,978
9	82	1,263,167	27	136,590
10	86	1,334,844	29	136,172
11	87	1,342,690	29	129,920
12	87	1,339,449	30	140,652
1	84	1,299,584	29	129,920

2	85	1,308,242	24	107,520
3	82	1,263,167	25	112,000
合 計	1,027	15,831,049	285	1,320,204
月平均	85	1,319,254	23	110,017
28年度	1,106	18,054,078	222	1,021,908
増 減	△79	△2,223,029	63	298,296

②受託金収入

鈴鹿亀山地区広域連合及び他市町村より要介護認定調査の委託を受け、対象者の住居を訪問し、心身の状態について面接調査を行いました。

(単位：件、円)

月	認 定 調 査	
	件 数	金 額
4	28	151,200
5	18	97,200
6	26	140,400
7	18	97,200
8	22	118,800
9	21	113,400
10	20	108,000
11	25	135,000
12	12	64,800
1	2	10,800
2	3	16,200
3	0	0
合 計	195	1,053,000
月平均	16	87,750
28年度	255	1,377,000
増 減	△60	△324,000

③実習生の受入

平成 29 年度介護支援専門員実務研修にかかる現場実習として、2 名受け入れました。

(事業評価・今後の課題)

在宅福祉サービス部門として、ホームヘルパー（訪問介護）及びケアマネジャー（居宅介護支援）の事業所を運営しています。

訪問介護事業につきましては、介護保険制度における訪問介護事業所、介護予防訪問介護事業所及び平成 29 年度から介護保険制度改正により介護予防・日常生活支援総合事業が開始され、当事業所としましては従来の介護予防訪問介護に相当するサービスを引き続き提供しています。また、障害者総合支援制度における障害者居宅介護事業所、障害者同行援護事業所を運営しており、平成 29 年度は常勤ヘルパー4名、登録ヘルパー12名が食事、排泄、入浴、調理、洗濯、移動支援など生活全般にわたる援助を行いました。

運営面において、訪問介護事業と総合事業を合わせて前年度と比較すると、新規ケースを積極的に受けたため利用延べ人数は増加しましたが、「毎日型」の件数減少により派遣延べ回数、派遣時間数及び事業収入は減少しました。

障害者居宅介護事業については、市内に障害者居宅介護事業所が少ないことと、28年度から当社協で取り組んでいる特定相談支援事業所を含め市内外の特定相談支援事業所と連携し、精神障害のある方で「生活援助」の新規ケースが増加したことにより利用人数と派遣時間数は増加しましたが、短時間で回数の多い「身体介護」は減少しており事業収入も減少いたしました。

居宅介護支援事業につきましては、3名の介護支援専門員が介護保険制度において、事業対象者及び要支援・要介護認定を受けた方の心身の状態や希望に応じてサービス利用計画（ケアプラン）を作成し、医療等関係機関や介護サービス事業者との連絡調整を行いました。

運営面については、積極的に地域包括支援センターから要支援者のケースを受託しました。しかしながら、要介護者については、新規ケースの増加と終了するケースが同程度であったため横ばいで推移していましたが、年度後半については減少傾向となりました。

訪問介護事業所については、利用者数は減少していませんが、収益面の改善には至っておりません。常勤ヘルパー2名が29年度末で退職しましたが、厳しい経営状況のため、現在職員の補充を見合わせている状況です。

居宅介護支援事業所については、市内の他の事業所が増えており、数年に渡り厳しい運営状況にあることから、事業の継続の可否も含めて早急に検討してまいります。

4 在宅福祉サービス事業（障がい福祉係）

【指定障害福祉サービス多機能型事業所「つくしの家」】

1 生活介護事業

利用者やその家族が希望する生活を大切に、個別支援計画に基づき介護や行事、創作的活動、交流活動、余暇活動等を行いました。また軽作業等の生産活動も行いました。

①職員配置

(単位：名)

職名		つくしの家	なかまの部屋	
管理者			1	
サービス管理責任者			1	
医師（嘱託医）			1	
看護師			1	
生活支援員	常勤	正規	0	1
		嘱託	0	0
		非常勤	4	2
	非常勤（登録）（兼務）	3	1	

②利用実績

1) つくしの家（主たる事業所：定員 15 名）

(単位：名、日、円)

	29 年度	28 年度	増減
利用者数	18	18	0
延べ利用日数	3,284	3,481	△197
事業収入	23,397,391	25,285,283	△1,887,892

2) なかまの部屋（従たる事業所：定員 12 名）

(単位：名、日、円)

	29 年度	28 年度	増減
利用者数	10	10	0
延べ利用日数	1,899	2,036	△137
事業収入	14,555,303	15,530,366	△975,063

③創作的活動（年間行事）

季節に応じた行事等を経験し、見識を広めることで利用者が余暇を楽しむことができるよう支援するとともに様々な場面や変化に順応できる力を伸ばせるよう支援しました。

1) つくしの家（主たる事業所）

実施月日	行事名	場所
4月10日	※季節の行事（花見）	亀山公園
5月2日	季節の行事（藤見学）	太巖寺
5月19日	ショッピング	イオンモール鈴鹿
6月5日	季節の行事（菖蒲園散策）	亀山菖蒲園
6月16日	※社会見学	滋賀方面
8月1日	あいあい入浴日	白鳥の湯
8月4日	※季節の行事 （流しそうめんとバーベキュー）	つくしの家
10月30日	季節の行事（ハロウィン）	つくしの家
11月17日	※季節の行事（焼き芋パーティ）	つくしの家
12月22日	忘年会（ボーリングと食事会）	アピナ鈴鹿
12月26日	利用者健康診断	社会福祉センター
1月12日	※成人を祝う会	つくしの家
2月2日	季節の行事（節分）	つくしの家
3月20日	あいあい入浴日	白鳥の湯
※は、なかまの部屋との合同行事 年2回 嘱託医師による定期健診 週1回 看護師によるバイタルチェック（検温、体重測定、血圧測定、健康相談等） 月1回～3回 音楽クラブ、絵画クラブ、パソコンクラブ、手芸 年5回 外食または喫茶の日（さがミ、コビアン他） 年3回 避難訓練（内2回は全館避難訓練） 余暇活動（ウォーキング等の軽運動、カラオケ、物づくり等）		

2) なかまの部屋（従たる事業所）

実施月日	行事名	場所
4月10日	※季節の行事（花見）	亀山公園
4月21日	外食の日	コメダ珈琲亀山店
6月9日	季節の行事（菖蒲園散策）	亀山菖蒲園
6月16日	※社会見学	滋賀県方面
7月21日	カラオケ	シダックス鈴鹿中央通り店
8月1日	あいあい入浴日	白鳥の湯
8月4日	※季節の行事 （流しそうめん/バーベキュー）	つくしの家
9月6日	季節の行事（川涼み）	落合の郷（津市）

2) なかまの部屋 (従たる事業所)

実施月日	行事名	場所
5月18日	関地区民生委員なかまの部屋見学会	なかまの部屋
5月26日	関地区民生委員との交流 (ボーリング大会)	アピナ鈴鹿
7月4日	関地区民生委員との交流会 (七夕茶会)	なかまの部屋
8月7日	放課後児童クラブとの交流会 (合同避難訓練)	放課後児童クラブ園庭
8月22日	中学生福祉体験教室 (4日間)	なかまの部屋
10月13日	保護者との交流会 (秋を楽しむ会)	なかまの部屋
11月21日	関小学校5年生との交流会 (体験学習)	なかまの部屋
12月12日	関地区民生委員との交流会 (クリスマス会)	健康づくり関センター
12月25日	放課後児童クラブとの交流会 (焼き芋会)	放課後児童クラブ園庭
2月15日	関地区民生委員との交流会 (感謝の会)	なかまの部屋
3月5日	関小学校5年生との交流会 (調理)	関小学校

⑤生産活動

機能訓練の一環として、一人ひとりにあつた軽作業を行い、達成感や自信が持てるよう支援しました。

1) つくしの家 (主たる事業所)

(単位:円)

種類	作業内容	事業収入	
		29年度	28年度
受託作業	<ul style="list-style-type: none"> ・ろうそく箱詰め ・葬儀用造花作り ・電子部品等組立 	313,881	349,628

2) なかまの部屋 (従たる事業所)

(単位:円)

種類	作業内容	事業収入	
		29年度	28年度
受託作業	<ul style="list-style-type: none"> ・ろうそく箱詰め ・100円ショップ等の商品 	193,398	197,345

2 就労継続支援B型事業

利用者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、生産活動をとおして知識及び能力の向上を目指しました。

①職員配置 (単位：名)

			つくしの家
管理者			1
サービス管理責任者			1
職業指導員	常勤	正規	1
生活支援員	常勤	非常勤	1
	非常勤（登録）（兼務）		3

②利用実績 (単位：名、日、円)

	29年度	28年度	増減
利用者数	5	5	0
延べ利用日数	1,126	1,276	△150
事業収入	6,132,762	6,788,306	△655,544

③生産活動 (単位：円)

種類	作業内容	事業収入	
		29年度	28年度
受託作業	<ul style="list-style-type: none"> ・電子部品等組立 ・葬儀用造花作り ・ローソク等箱詰め ・書類封入作業 ・草刈り作業 ・ゴムのバリ取り・検品 ・100円ショップ商品等の組立・パッケージング ・野菜の袋入れ 	404,531	495,416
自主製品	手作り小物等	44,100	53,100
合計		448,631	548,516

④創作的活動（年間行事）

様々な行事を通して、自発的な活動への参加や地域で暮らしていくマナーやルールを知る機会を提供するとともに仲間づくりができるよう支援しました。

実施月日	行事名	場所
4月10日	※季節の行事（花見）	亀山公園
5月2日	季節の行事（藤見学）	太巖寺
5月19日	ショッピング	イオンモール鈴鹿
6月5日	季節の行事（菖蒲園散策）	亀山菖蒲園
6月16日	※社会見学	滋賀方面
8月1日	あいあい入浴日	白鳥の湯
8月4日	※季節の行事 （流しそうめんとバーベキュー）	つくしの家
10月30日	季節の行事（ハロウィン）	つくしの家
11月17日	※季節の行事（焼き芋パーティ）	つくしの家
12月22日	忘年会（ボーリングと食事会）	アピナ鈴鹿
12月26日	利用者健康診断	社会福祉センター
1月12日	※成人を祝う会	つくしの家
2月2日	季節の行事（節分）	つくしの家
3月20日	あいあい入浴日	白鳥の湯
※は、なかまの部屋との合同行事 年2回 嘱託医師による定期健診 週1回 看護師によるバイタルチェック（検温、体重測定、血圧測定、健康相談等） 月1回～3回 音楽クラブ、絵画クラブ、パソコンクラブ、手芸 年5回 外食または喫茶の日（サガミ、コビアン他） 年3回 避難訓練（内2回は全館避難訓練） 余暇活動（ウォーキング等の軽運動、カラオケ、物づくり等）		

⑤地域交流

地域の小、中学生やボランティアなどと交流をし、障がい者への理解を深めてもらえるよう広報啓発に努めました。

実施月日	行事名	場所
6月5日	中学生職場体験受入（5日間）	つくしの家
6月30日	白川小6年生体験学習	つくしの家
7月25日	西部地区民生委員との交流会	つくしの家
8月21日	中学生福祉体験教室（3日間）	つくしの家
9月8日	三重大生との交流会	三重大学
9月29日	白川小全校生徒との交流会	社会福祉センター
11月15日	亀老連老人福祉フェスティバル参加	社会福祉センター
11月16日	白川小ふれあい集会打合せ	つくしの家

11月24日	白川小ふれあい交流会	白川小学校
2月13日	鈴鹿大学短期大学部けやき会の学生による音楽療法	社会福祉センター
2月23日	三重大生との交流会	つくしの家
2月27日	西部地区民生委員との交流会	社会福祉センター
3月16日	感謝の集い	つくしの家
3月20日	白川小卒業式出席	白川小学校
月1回	三重大生によるレクリエーション	

3 利用体験実習の受入

卒業後の進路を考慮し体験できるよう、杉の子特別支援学校 石薬師分校の生徒2名の現場実習を受け入れました。【つくしの家（生活介護・就労継続支援B型）】

4 運営委員会の開催

本事業所の円滑な運営を資するため、福祉サービス内容や事業計画及び運営について協議をしました。

実施日	内 容
10月5日（木）	福祉サービス内容の見直しについて
1月29日（月）	平成29年度事業報告及び現状について 平成30年度事業計画(素案)について 送迎サービス実施における準備の進捗状況について

5 利用者及び保護者への事業所説明会の開催

福祉サービス内容の変更について利用者および保護者の理解を得るために説明会を行いました。

実施日	内 容
11月10日（金）	送迎サービスについて 就労継続支援B型事業廃止について
3月2日（金）	送迎サービスについて

6 特定・障害児相談支援事業

障がい福祉サービス等を申請した障がい者(児)に、自立した生活を支え、障がい者(児)の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、サービス等利用計画を作成及び支給決定後の計画の見直しをしました。

①特定相談支援

(単位：名、円)

	29年度	28年度	増減
契約者数	54	39	15
事業収入	2,074,114	1,487,199	586,915

②障害児相談支援

(単位：名、円)

	29年度	28年度	増減
契約者数	20	7	13
事業収入	751,363	100,134	651,229

7 社会福祉センターの運営 〈市補助事業〉

【年間利用状況 〈3階集会室〉】

(単位：件、名)

	29年度	28年度	増減
利用件数	464	439	25
利用人数	10,367	8,679	1,688

【工事及び修繕の執行状況】

工事名	契約年月日	完成年月日
昇降機改修作業	平成 29 年 5 月 8 日	平成 29 年 9 月 8 日
防犯カメラ設置工事	平成 29 年 5 月 29 日	平成 29 年 6 月 9 日
自動扉装置タッチスイッチ 増設工事	平成 30 年 2 月 19 日	平成 30 年 3 月 13 日
消防用設備補修	平成 30 年 1 月 15 日	平成 30 年 3 月 30 日
その他 3 か所修繕		

(事業評価・今後の課題)

「つくしの家」「なかまの部屋」では、個別支援計画に基づき利用者の個性を生かした日中活動の場を提供してきました。

生活介護事業は生活支援や身体介助を中心に、写真や絵カードなどを使った視覚支援や安定できる場所の確保など個々にあった合理的配慮に心がけて生活支援を行ってきました。今後も職員の資質向上に努め、相談支援センターや医療機関、他の福祉サービス事業所と連携し利用者が安定した生活を送れるよう支援していきます。

就労継続支援 B 型事業は作業能力やコミュニケーション能力向上をめざし支援を行い、1 名就労移行事業所にステップアップしました。就労継続支援 B 型事業の運営については 29 年度を持って廃止し、30 年度より生活介護事業所として運営することとなりました。また、利用者のニーズが高かった送迎サービスを 30 年度より開始します。今後は、生活介護事業の中で仕事を通して能力向上できる環境とゆったりと安定して過ごせる環境を提供し、個々に合わせた支援を充実させより良い事業運営を展開していきます。

特定相談支援事業及び障害児相談支援事業については、利用者の自立した生活を支え、利用者の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて信頼関係を築きながら福祉サービス等利用計画の作成や計画の見直しを行っています。運営面については相談支援事業単独では収支状況は厳しいですが、亀山市内に 2 ヶ所しかないため、ニーズが高いことから今後も引き続き福祉サービス事業所や行政、医療機関等と連携を深め、利用者寄り添った相談支援事業を進めていきます。

社会福祉センターの管理運営につきましては、3 階の集会室を福祉関係団体等の方々に会議やレクリエーションなどに活用していただいております。29 年度は防犯カメラの設置と自動扉のタッチスイッチの増設をして防犯設備の強化を行いました。また、多くの方々に利用していただけるよう、利用に関する規程の整備を行いました。利用状況について検証を行い、今後も利用者が快適に利用できるよう努めていきます。

5 その他

①関係機関への協力、参加

(単位：回)

委員会名	実施主体	回数/年	出席者
亀山市地域福祉推進委員会	健康福祉部 地域福祉室	3	会長
亀山市高齢者福祉推進協議会	健康福祉部 長寿健康づくり室	3	会長
亀山市要保護児童等・DV対策地域協議会	健康福祉部 子ども支援室	1	会長
亀山市民生委員推薦委員会	健康福祉部 地域福祉室	2	会長
亀山市国民保護協議会	企画総務部 危機管理局	1	会長
亀山市防災会議	企画総務部 危機管理局	1	会長
亀山市水防協議会	企画総務部 危機管理局	1	会長
亀山市下水道使用料等検討委員会	建設部 下水道室	3	会長
亀山市共同募金運営委員会	亀山市共同募金委員会	2	会長 古川
かめやま江戸の道シティマラソン実行委員会	かめやま江戸の道シティマラソン実行委員会	3	会長 藤本
亀山市高齢者・障がい者虐待防止対策代表者会議	健康福祉部 長寿健康づくり室	1	古川
介護認定審査会	鈴鹿亀山地区広域連合	17	出口
介護保険運営委員会	鈴鹿亀山地区広域連合	8	出口
市民活動応援制度審査検証委員会	市民文化部 共生社会推進室	2	藤本
亀山市地域自立支援協議会	健康福祉部 地域福祉室	3	加藤 鋏田
亀山市地域自立支援協議会（ワーキング委員）	健康福祉部 地域福祉室	1	川原田

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

②亀山市議会教育民生委員会との意見交換会

当会の事業概要や意見交換の場として、市議会教育民生委員会と意見交換会を行いました。

実施日 平成 29 年 5 月 24 日（水）

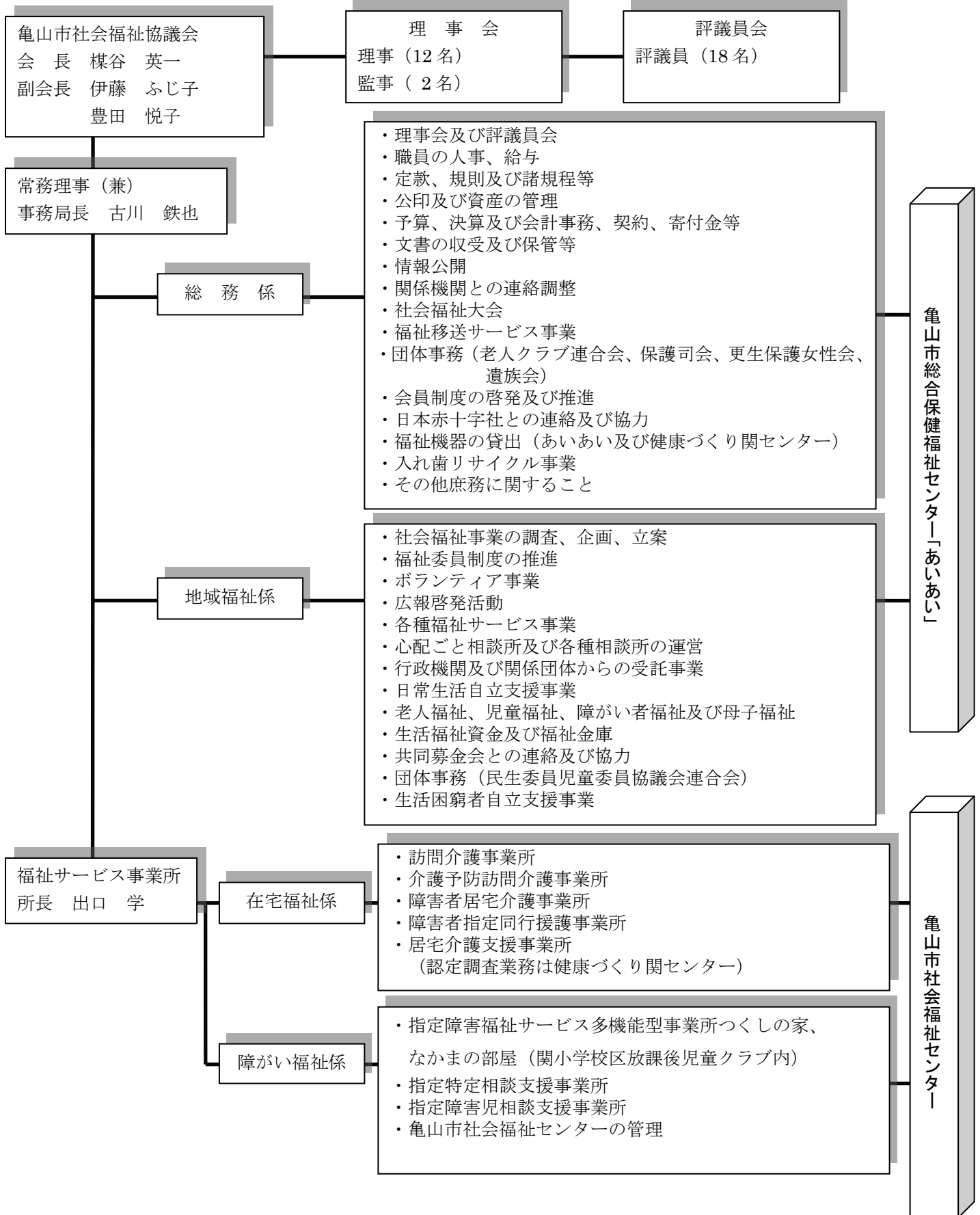
場 所 社会福祉センター

内 容 社会福祉協議会の事業概要について意見交換

（事業計画、市補助金の使途、自主事業等について）

出席者 会長、事務局長、所長、事務局次長、各係長

社会福祉法人 亀山市社会福祉協議会組織・事務機構図



亀山市総合保健福祉センター「あいあい」

亀山市社会福祉センター